



『船橋の新名所 三重の塔』／撮影者：小野 武弘 様／撮影場所：金杉 御滝不動尊

電話de詐欺の被害を食い止めるための防犯対策費などを含む 一般会計補正予算や平成29年度決算認定議案を可決

～議長・副議長選挙前に所信表明の機会を設けることについて意見を述べるため全員協議会が開催されました～

平成30年第3回定例会は、9月3日から10月10日までの38日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から23議案、議員から10議案が提出され、安心かつ安全な保育環境の確保を支援する保育所等事故防止推進事業費などを含む平成30年度一般会計補正予算のほか、平成30年度より着工する（仮称）船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築工事の請負契約の締結を含む27議案を可決しました。

また、平成29年度一般会計を含む10件の決算認定議案が提出され、10件を認定しました。

— 目 次 —

議案の概要	P.2
議案等の議決結果、会派の構成	3
議案質疑	4、5
各委員会の報告	6、7
閉会中の委員会報告、特別委員会の活動	8、9
議会見学会を開催しました、お知らせ	10
一般質問	11～16

【特集】 議長・副議長選挙前に所信表明の機会を設けることについて全員協議会が開催されました	17～19
船橋市議会の取り組み	20

議案の概要

今定例会に市長及び議員が提出した議案の内容です。

平成30年度補正予算

○一般会計補正予算【第1号】

補正額 500万円の増額

○一般会計補正予算【第2号】

補正額 1億7628万7千円の増額

○介護保険事業特別会計補正予算【第3号】

補正額 5311万4千円の増額

決算の認定

○一般会計【認定第1号】

○国民健康保険事業特別会計【認定第2号】

○下水道事業特別会計【認定第3号】

○公共用地先行取得事業特別会計【認定第4号】

○船橋駅南口市街地再開発事業特別会計【認定第5号】

○介護保険事業特別会計【認定第6号】

○母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計【認定第7号】

○後期高齢者医療事業特別会計【認定第8号】

○地方卸売市場事業会計【認定第9号】

○病院事業会計【認定第10号】

改正する条例

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例【第4号】

行政手続の簡素化による負担の軽減等に資するため、個人番号の利用について、所要の改正を行うもの。

○非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条

例【第5号】

最高情報統括責任者補佐官を任用することに伴い、非常勤の特別職の職員の報酬の額について、所要の改正を行うもの。

○船橋市議会議員及び船橋市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例【第6号】

公職選挙法の一部改正に伴い、選挙運動用ビラの作成の公営に関し、所要の改正を行うもの。

○養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例【第7号】

養護老人ホームの設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

○児童ホーム条例の一部を改正する条例【第8号】

新たに児童ホームを設置するについて、その名称及び位置を規定するもの。

○手数料条例の一部を改正する条例【第9号】

建築基準法の一部改正に伴い、建築の認定及び仮設興行場等の建築の許可の申請に係る手数料について、所要の定め等をするもの。

○地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例【第10号】

船橋都市計画において新たな地区計画の決定に伴い、地区計画の区域内における建築物の敷地、構造及び用途に関する制限を行うため、所要の定め等をするもの。

契約関係

○(仮称)船橋市立塚田第二小学校・放

課後ルーム新築工事請負契約の締結について【第11号】

契約金額 26億2440万円

○(仮称)船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築電気設備工事請負契約の締結について【第12号】

契約金額 3億2940万円

○(仮称)船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築空調設備工事請負契約の締結について【第13号】

契約金額 2億9484万円

○船橋市立船橋特別支援学校金堀校舎増築工事請負契約の締結について【第14号】

契約金額 3億6180万円

○(仮称)船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築給排水衛生設備工事請負契約の締結について【第19号】

契約金額 2億8944万円

○損害賠償の額の決定及び和解について【第15号】

市立中学校において教育活動実施中に発生した事故について、損害賠償の額を定め和解するもの。

○市道の路線認定及び変更について【第16号】

道路法に基づき、市道の路線認定及び変更をするもの。

○人事に関するもの【第17号】

○教育委員会委員任命の同意を求めることについて

佐藤 秀樹

○固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて【第18号】

島崎 克美

○人権擁護委員の候補者推薦について

小杉 典子(新任)

高橋 ゆう子(再任)

加藤 廣行(再任)

齋藤 吉宏(再任)

議員提出議案

◆船橋市議会会議規則の一部を改正する規則【発議案第1号】

◆船橋市議会委員会条例の一部を改正する条例【発議案第2号】

◆子ども医療費の助成に関する条例【発議案第3号】

◆学校給食費に関する条例の一部を改正する条例【発議案第4号】

◆国民健康保険条例の一部を改正する条例【発議案第5号】

意見書の提出・決議

◆東海第二原発の運転期間延長を行わず、廃炉を求める意見書【発議案第6号】

◆杉田水脈衆議院議員のLGBT差別発言に抗議し、謝罪と撤回を求める決議【発議案第7号】

◆選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書【発議案第8号】

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書【発議案第9号】

◆教育予算の充実にに関する意見書【発議案第10号】

議案の議決結果										○－賛成 ×－反対	
付託 委員会	議案番号	件名	会派					無所属	議決結果		
			自由 市議会	公明 党	日本共 産党	市民生 の会	自由民 主党	民主連 合	研政会		
予算決算	議案第2号	平成30年度船橋市一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	可決	決
	議案第3号	平成30年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	認定第1号	決算の認定について（一般会計）	○	○	×	○	○	○	×	認定	定
	認定第2号	決算の認定について（国民健康保険事業特別会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
	認定第3号	決算の認定について（下水道事業特別会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
	認定第4号	決算の認定について（公共用地先行取得事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	認定	定
	認定第5号	決算の認定について（船橋駅南口市街地再開発事業特別会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
	認定第6号	決算の認定について（介護保険事業特別会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
	認定第7号	決算の認定について（母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	認定	定
	認定第8号	決算の認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
総務	認定第9号	決算の認定について（地方卸売市場事業会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
	認定第10号	決算の認定について（病院事業会計）	○	○	×	○	○	○	○	認定	定
	議案第4号	船橋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決	決
	議案第5号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決	決
	議案第6号	船橋市議会議員及び船橋市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第11号	（仮称）船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第12号	（仮称）船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築電気設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第13号	（仮称）船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築空調設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第14号	船橋市立船橋特別支援学校金堀校舎増築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第17号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	同意	意
健康福祉	議案第18号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	同意	意
	議案第19号	（仮称）船橋市立塚田第二小学校・放課後ルーム新築給排水衛生設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦について（小杉典子氏）	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
	諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦について（高橋ゆう子氏）	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
	諮問第3号	人権擁護委員の候補者推薦について（加藤廣行氏）	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
	諮問第4号	人権擁護委員の候補者推薦について（齋藤吉宏氏）	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
	発議案第6号	東海第二原発の運転期間延長を行わず、廃炉を求める意見書	×	×	○	○	×	×	×	否決	決
	発議案第7号	杉田水脈衆議院議員のLGBT差別発言に抗議し、謝罪と撤回を求める決議	×	×	○	○	×	×	×	否決	決
	発議案第8号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書	×	×	○	○	×	×	×	否決	決
	議案第7号	船橋市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決	決
建設	議案第8号	船橋市児童ホーム条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第3号	船橋市子ども医療費の助成に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決	決
	議案第5号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決	決
文教	議案第9号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決	決
	議案第10号	船橋市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決	決
	議案第16号	市道の路線認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
付託省略	議案第15号	損害賠償の額の決定及び和解について	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第4号	船橋市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決	決
	議案第1号	平成30年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
無所属	議案第1号	船橋市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第2号	船橋市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
	議案第9号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決	決
無所属	議案第10号	教育予算の充実に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決	決

(注) 上記の無所属の欄は、無所属議員の賛成・反対について記載する欄ですが、無所属の議員は議長であり、議長は議員として議決に加わる権利を有しないことが地方自治法第116条第2項で定められているため、斜線で表記しています。（可否同数の場合は議長が決します。）

議案等の議決結果の詳細は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。下記のURLを検索するか、右のコードを読みとり、ご覧ください。

<http://www.city.funabashi.lg.jp/assembly/001/30/003/p064098.html>



陳情の議決結果			
付託委員会	受理番号	件名	議決結果
総務	陳情第23号	核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第24号	東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する陳情書	みなす不採択
	陳情第25号	日本原電東海第二原発再稼働に反対する意見書提出に関する陳情	みなす不採択
健康福祉	陳情第26号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	不採択
文教	陳情第27号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	採択
	陳情第28号	「国における平成31（2019）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	採択

会派の構成										(平成30年10月10日現在)	
無所属	鈴木和	島田たいぞう	長谷川大	岡田とおる	三橋さぶろう	民主連合	浅野賢也	長野春信	自由民主党	浦田秀夫	朝倉幹晴
	鈴木和	島田たいぞう	長谷川大	岡田とおる	三橋さぶろう	民主連合	浅野賢也	長野春信	自由民主党	浦田秀夫	朝倉幹晴
公明党	鈴木心一	日色健人	川井洋基	渡辺賢次	藤代清七郎	小平奈緒	鈴木ひろ子	滝口一馬	佐々木克敏	大矢敏子	中村静雄
	鈴木心一	日色健人	川井洋基	渡辺賢次	藤代清七郎	小平奈緒	鈴木ひろ子	滝口一馬	佐々木克敏	大矢敏子	中村静雄
日本共産党	鈴木幸雄	石崎和子	橋本修	木村修	鈴木心一	日色健人	川井洋基	渡辺賢次	藤代清七郎	小平奈緒	鈴木ひろ子
	鈴木幸雄	石崎和子	橋本修	木村修	鈴木心一	日色健人	川井洋基	渡辺賢次	藤代清七郎	小平奈緒	鈴木ひろ子
市民生	佐藤重雄	岩井友子	中沢学	松崎佐智	坂井洋介	渡辺ゆう子	金沢和子	関根和子	うめなみ幹雄	三宅桂子	つまがり俊明
	佐藤重雄	岩井友子	中沢学	松崎佐智	坂井洋介	渡辺ゆう子	金沢和子	関根和子	うめなみ幹雄	三宅桂子	つまがり俊明
自由民主党	斎藤和夫	池沢みちよ	朝倉幹晴	浦田秀夫	神田廣栄	つまがり俊明	三宅桂子	うめなみ幹雄	三宅桂子	つまがり俊明	神田廣栄
	斎藤和夫	池沢みちよ	朝倉幹晴	浦田秀夫	神田廣栄	つまがり俊明	三宅桂子	うめなみ幹雄	三宅桂子	つまがり俊明	神田廣栄
研政会	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう
	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう	石川りょう
無所属	鈴木和	島田たいぞう	長谷川大	岡田とおる	三橋さぶろう	民主連合	浅野賢也	長野春信	自由民主党	浦田秀夫	朝倉幹晴
	鈴木和	島田たいぞう	長谷川大	岡田とおる	三橋さぶろう	民主連合	浅野賢也	長野春信	自由民主党	浦田秀夫	朝倉幹晴

議案質疑

今定例会に提出された議案について、質疑したものです。

日本共産党

佐藤 重雄

第1号

【質問】 振り込み詐欺対策電話機等購入費の一部補助のための補正予算について、街頭でも「怪しいと感じたら警察に電話をしてください」といったアナウンスをしているが、これは警察を名乗った振り込み詐欺に対し、被害者が信用してしまいう前提条件を作ってしまったている。被害に遭われた方がなぜその電話の内容を信頼したのかを分析して対応しなければ、この施策は効果が期待できないのでは。

【答】 市民生活部長 1人でも多くの方々に状況を知っていただくことが大切。心理分析は当然必要だが、その前に、まずできることからやっていただきたいというところを周知させていただいている。

【答】 市長 被害者心理の分析だけで対応できるなら、もっと早くに撲滅できている。留守番電話機能付など、まずは直接的に対応できるものからやっていくというところで今回の提案をさせていただいた。

第2号

【質問】 小・中学校給食調理業務委託や特別支援学校スクールバス運行業務委託の債務負担行為について伺う。年間の早い時期に債務負担行為という形をとっているが、必ず、人材確保の期間が欲しいといった話が出てくる。年間の半期も早

めてしまつようなやり方でないか人材確保ができないのは、民間に委託したら労働力を買いたたけるから安くなり、それを受けた民間もどのようにその人材を買いたたく仕組みで人材を集めるか、という点で苦労して時間がかかる、という仕組みになっているからであると考ええるが。

【答】 学校教育部長 昨年度も同様な形で行い、業務委託もスムーズに行うことができ業務も進んでいることから、この形で問題はないと考えている。

市民共生の会

つまがり俊明・池沢みちよ・朝倉幹晴

第1号

【質問】 詐欺被害防止のための電話機等はどこで購入出来るのか。取り扱い店舗にステッカー等目印を貼ってはどうか。また購入補助の申請書を店頭に置けないか。

【答】 市民生活部長 電器店・量販店・ネット等で購入出来る。ステッカー等は研究する。電器店には注意喚起・補助制度のチラシと申請書配布をお願いしている。

第11号・第12号・第13号・第14号・第19号

【質問】 建築工事で落札率100%に近いものが続出し、今年度から入札方法を変えたが、結果をどう評価しているのか。

【答】 企画財政部長 建築工事で予定価格の事後公表、混合入札を実施。結果、参加者数の増加、落札率の低下が見られた。

【質問】 落札率低下により価格が下がる

のは良いが、下請け業者の賃金へのしわ寄せが出ては心配。下請け業者への支払い状況を市が確認すべきではないか。

【答】 企画財政部長 受注者に下請契約・代金支払の適正化を文書で通知している。発議案第4号

【質問】 弁当持参の児童生徒への対応は。

【答】 日本共産党議員 学校給食がアレルギーに対応できる体制をとることが必要。発議案第7号

【質問】 本発議案は杉田水脈議員の「新潮45」での「LGBTだからといってそんなに差別されているか」「LGBTは生産性がない」等の発言に抗議する内容である。LGBTに対する差別の実態は。

【答】 日本共産党議員 自殺やいじめなど深刻。一日も早くなくさねばならない。

【質問】 市民の中にも子どもを持たない世帯もある。人間の価値を「生産性」で見える見方は誤りと思う。そういった世帯を税金の優先から外す考えは正しいのか。

【答】 日本共産党議員 正しくない。

民主連合

斉藤誠・三橋さぶろう

第1号

【質問】 迷惑電話防止機能付きの電話機などを量販店が設置することは、難しいかもしれないが、その際は、警察と協力し、さらなる協力依頼をするか、市が直接アフターフォローの対応をするか、あ

るいは、別の対応を考えるべきでは。

【答】 市民生活部長 警察と連携し、量販店に協力依頼を行っていききたい。アフターフォローについても、可能な限りさまざまな方法で検討していきたい。第11号・第12号・第13号・第19号

【質問】 仮称塚田第二小学校の体育館において異常気象対策はとられているのか。

【答】 管理部長 1階の中庭側は全面引き違い扉とし、開けることができる。さらに、体育館天井の一部を吹き抜けとし、上部に換気窓と換気扇を設置。1階から吹き抜け部分に風が流れるシステム。

【質問】 更衣室について、空調設備はないとのこと。水泳の授業中に生徒が熱中症で倒れることも想定されるため、空調設備は早急に検討すべきでは。

【答】 管理部長 プールの北西部から校舎への出入りが可能となっており、保健室へ移動し、救護することを考えている。

【質問】 正門の位置について、森のシティから通学する生徒の通学路の安全対策を考慮すると、受水槽ポンプ室南あたりに南門を設置する必要があると考ええるが。

【答】 管理部長 隣接する東側、南側の道路を拡幅し、学校側に3メートル程度の歩道を確保する計画があることから、南門の設置は考えていない。

【質問】 待機児童発生の場合の対策は。

【答】 子育て支援部長 周辺の入所状況等

を加味して定員を設定したが、万一待機児童発生が見込まれる場合は、早期に学校などと検討を開始する。

研国会

長谷川 大

第2号・第11号・第12号・第13号・第19号・認定第1号

質問 放課後ルームについて、どこまで、どのレベルまで公設公営でやっているつもりなのか。今回、中野木小学校に新たに放課後ルームを増設する補正予算が上程されているが、随分学校から離れたところに設置することである。

「施設が足りない。だからつくる」という姿勢を続けており、それが決算の数字にも表れてきている。施設も決算額もどんどん増えてきているが、それで良いのか、というところが明確ではない。臨時・非常勤職員の会計年度職員への移行、行財政改革など、様々な話を総合的に勘案したときに、放課後ルームがどうあるべきかということ、課題を含め総論的に伺う。

答 山崎副市長 今まで公設公営で続けてきており、当時は、一部例外はあったが校舎内に入れるということを大原則に運営してきた。今、民設民営ということもでき、経費メリットが出るか疑問ではあるが指定管理者制度もある。保育の方の待機児童対策で、該当する子どもがそのまま放課後ルームに流れていくというのが一般的な傾向である。放課後ルーム

の管理者をどうするのか、その中で会計年度任用職員というのは、補助的業務しかできないなど、様々な問題がでてきており、今、行財政改革の中で議論されている。この問題に関しては、このままの量の拡大が続いていくと、どこまで公設でできるのかということは、まだ推論していない。しかし、前議会でも答弁させていたのだが、基本的には選択肢すべてを念頭に置いて考えていかざるを得ない状況にきているのではないかと考えている。

自由市議会

大矢 敏子

第1号

質問 電話で詐欺被害非常事態宣言から2ヶ月が経過しているが、対策をもっと早くするべきではなかったのか。

答 市民生活部長 6月29日に電話で詐欺被害非常事態宣言をし、市内の関係団体と情報共有をした。市として検討を進める中で、まず啓発活動に力を注いだ。今議会で提案させていただいた補助制度の準備を進めていた。

質問 予算以上の申し込みがあった場合はどのように対処するつもりなのか。

答 市民生活部長 財政当局と相談し、再度補正予算の提出などを検討したい。

質問 学校等では、緊急連絡等にメールが活用されている。若い世代にはメール配信も有効と考えるが、どのように考えているのか。

答 市民生活部長 若い世代の方にも関心を持ってもらい、親や祖父母の方々に注意を促していただくことも必要だと思う。関係部局と相談していきたい。

質問 迷惑電話防止機器の貸し出しについて、貸し出し期間を1年から半年に変更する予定とのことだが、どのように切り替えをしていくのか。

答 市民生活部長 今回の購入費の補助制度の施行に伴い、新たな貸し出し希望の方から、貸し出し期間を半年間にしたと考えている。

質問 商店会や企業への投げかけ、協力の要請はどのようにしているのか。

答 市民生活部長 商店会については、チラシ等を配布し、お客様に渡していただくことなど、そういったことをお願いしていく予定である。企業については、商工会議所にも相談しているが、加盟団体に今回の補助制度のチラシをお知らせすることで調整をしている。

公明党

松崎 裕次

第2号

質問 CIO補佐官の任用に当たり、本市の情報システム上の課題を分析した上で、適性を見て選任したのか。

答 総務部長 ICTの活用やクラウド化などの庁内横断的な課題等に対し、職員では検討が難しい専門的な部分について技術的な支援をお願いしたいと考えた。

第11号

質問 (仮称) 塚田第二小学校新築工事の総合評価方式は簡易型の部類に属する。簡易型は主に技術的な工夫の余地が小さい工事が対象とされるものであり、安全対策や交通・環境への影響などを重視する際には標準型などの方式が採用されるべきではないか。

答 都市計画部長 本工事は周辺環境を考慮した施行計画を求め、騒音振動対策と現道交通に配慮した工事車両の誘導をテーマにしており、安全対策や交通等に対する技術力が確保されていると考える。

質問 (仮称) 塚田第二小学校の正門は東側に設置されているが、災害時の避難を考え西側にも門を設置するべきでは。

答 管理部長 学校敷地北西部に計画されている、公園に面した場所への通用門の設置について協議をしている。

認定1号

質問 平成29年度に団体に関する基礎調査・分析業務を委託し実施したが、どの様に評価し、どう活用するか。

答 市民生活部長 町会・自治会の役員の確保をはじめ苦労されていることなど、これまでイメージとして捉えていたことが具体的な数字で示された。地域の課題としては「防災、減災、災害対策に関すること」が最も回答が多く、町会等への加入・非加入を問わず同様の傾向。今後は非加入世帯への対応を含め、検討する。



各委員会の報告

委員会付託された議案・発議案・陳情について、それぞれ担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

予算決算委員会

議案

第2号は、「マイナンバー導入に伴う予算、質の低下を招く小中学校給食調理業務委託料等の予算については、反対」との反対討論、「新船橋橋の架け替え工事における繰越明許費等、各事業を円滑に行い、十分な効果が得られるよう期待し、賛成」「事故防止への機材購入を行う保育所等事故防止推進事業等に賛成するが、事故防止への注意喚起や指導を要望する」との賛成討論があった。

採決の結果、賛成多数で可決した。

認定

第1号は、不認定の立場で「国庫支出金の不納欠損金の計上という事務の懈怠、市税条例の改正漏れ、多額の不用額が発生する予算編成、市施行のような関与をしている海老川上流地区の区画整理事業、指定管理者への移行と民間委託に突き進み、行政が労働力を買いたたく道を進み始めたこと、年度の結末の姿が決算書から見えない等の理由から、議会がこの決算を認定することは、地方自治の否定と議会の自殺行為になるため、不認定」「実行委員会方式による事業は、運営手法、組織など多くの問題点があるにもかかわらず、意図的に議会や監査の目を届かなく

くしていると評価されても仕方がない事業が散見された。安易に実務経験乏しき発想で考えず、市の実事業よりも慎重に行うことを望む。また、税率の改正漏れに伴う市税条例改正案は、市民に対して極めて不誠実なものであり、不利益不遑及を盛り込んだ修正案を提出したが、本会議で否決された。この決算には、不利益不遑及が否定され、改正条例が実施された歳入が計上されており、この部分は認定できない」、認定の立場で「歳出では、めざますまちの姿の実現に向け、優先的な予算も措置され、テーマに沿った施策が着実に推進されたことは高く評価する。財政状況が厳しくなる中、中長期的な視点に立った総合的かつ計画的な行財政運営に努めることを求める。また、市税条例の改正漏れがあり、監査委員の決算審査意見書では、一部の事務において債権の適切な管理や事務処理が行われなかったとの記載があったので、検証と改善を求める」「就学援助費の増額等は評価するが、3図書館への指定管理者制度導入等は評価できない。指摘や要望を受け止め、新年度予算や政策への反映を求め、認定」「ふなばし三番瀬環境学習館等の施設整備、待機児童対策等は評価する。今後も財政現状を分析することを求め、認定」「学習支援等の対象を小学生

へ拡大すること、児童虐待は喫緊の課題であり早急に対応すること、母子健康手帳交付時に妊婦全員に面接を行う事業のスタートに伴い、保健師・助産師の確保に努めること、過去に船橋市に残らなかったインキュベーション施設卒業企業もあることで、事業展開しやすい環境をつくること、都市整備に柔軟な発想を持つて取り組むこと、健康診断を欠席した児童生徒に受診する機会を設けること等を要望し、認定」との討論があった。

採決の結果、賛成多数で認定した。

総務委員会

議案

第6号は、「この条例改正により、有権者が候補者の政策を知る機会が拡充されるが、十分な改正とは言い難く、現行の公職選挙法は制限が多すぎるため、法改正が必要であることを附して賛成する」「ビラ作成の公費負担は、誰でも立候補できる条件を整えていく点で賛成だが、印刷業界もインターネットなどがどんどん出てきて、事前に契約する方法ができなくなってきたことなどの改善を求めて、賛成する」との賛成討論があった。

第11号は、「技術的な評価もそうだが、公共事業の質を確保するためには、そこへ拡大すること、児童虐待は喫緊の課題であり早急に対応すること、母子健康手帳交付時に妊婦全員に面接を行う事業のスタートに伴い、保健師・助産師の確保に努めること、過去に船橋市に残らなかったインキュベーション施設卒業企業もあることで、事業展開しやすい環境をつくること、都市整備に柔軟な発想を持つて取り組むこと、健康診断を欠席した児童生徒に受診する機会を設けること等を要望し、認定」との討論があった。

で働く人たちにきちんとした労務単価が支払われることが極めて重要なので、この点については改善することを求め、賛成する」「今後の新築、増築、改築の際のエアコン設置や今後の入札制度の改善を求め、賛成する」「今後も事例を積み重ねつつ、より良い入札の実施を心掛けてほしい。本体だけでも26億円の大規模な工事で、開校時期が定められている中、工期等の管理が大変難しいと思うが、安全第一で工事を進めることをお願いする」との賛成討論があった。

第12号は、「応札業者が1者で、落札率は97・91%と、競争性の確保という点からは少し残念な結果になった。市内業者の意見では、賃金が安いことが人手不足を生じさせている。技術者の平均年齢が55歳を超え、若手が減っているなど、総合評価の質を確保する工事現場にしたいのに人手不足のために参加できないという問題も多々生じている。総合評価制度が実施されたので、競争性が確保されるよう努力してほしい」との賛成討論があった。

第13号は、「応札者は1者のみ、落札率は99・45%と競争性の確保が課題になっている。引き続き、この総合評価型一般競争入札の競争性の確保、業界の問題について改善することを要望し、賛成す

る」との賛成討論があった。

第14号は、「近年、特別支援学校への入学希望者がふえており、増築工事は、非常にありがたい。学校で行われている作業や動線がうまく機能するように、ぜひ配慮してほしい。また、入札の問題については、日程の厳しさが応札業者に影響を与えているという懸念があるので、2回目以降の入札について、事業者が努力できるだけの日程や時間を確保することを要望する」「1回目の入札で全企業が予定価格を超過したことは、事前に予定価格が漏れなかった証拠でもあり、大変評価する。官製談合がまた発生することがないよう、特段の注意を払ってほしい」との賛成討論があった。

第17号は、「非常に識見高く、すばらしい方で、さまざまな教育委員会の関係する事業に出席を賜っている。教育に関しては、まちづくりは人づくりからということを経験として、社会の基本を成すものは、教育であると考えていると承っており、再任は絶対にありえるべき」との賛成討論があった。

第4号は、「日本共産党として、マイナンバー制度そのものに反対し、その利用拡大についても同様に反対している。今回の条例改正は、改正をしなくても手続き上の問題は無いと説明があり、混合世帯の場合、マイナンバー自体が分からないという事態も十分に想定される。マイナンバーがわからなくても、きちんと行政

手続ができるよう尽力するほうが、重要だと思う」との反対討論があった。

第5号は、「条例改正をやって、この方を任用する際に、市民あるいは市民生活にとつて、本当に必要な方なのかという観点が必要である。船橋市の職員の育成に関与しないことを勘案すると、副市長が困ったから相談相手を雇うという狭さを感じる。船橋市として専門家を雇いたいのであれば、また別な形、やり方で提案してほしい」との反対討論があった。

採決の結果、**第6号、第11号、第12号、第13号、第14号**は全会一致で可決、**第17号**は全会一致で同意、**第4号、第5号**は賛成多数で可決した。

健康福祉委員会



議案

第8号は、「坪井地区に新設された児童ホームの名称と位置を定める条例なので、賛成。子育て世代包括支援センターの構想が政府から出ているなかで、船橋市は保育園の需要が増しているなど、子育て中の方々の困難も大きくなっている。子育てをめぐめる動きが様変わりするなかで、子育て中の方々をどう支援していくのか、しっかりと検討し、体制を作ることを要望する」との賛成討論があった。

第7号は、「本条例改正は、サテライト型養護老人ホームの常勤であった看護職員や主任生活相談員の配置基準の規制緩和

や、栄養士、調理員、事務員その他の職員を置かないことを可能とし、機能低下させる規定が盛り込まれている。本体施設を持つサテライト型養護老人ホームと

言うが、車で20分の距離までは認めるとなると、高齢者の生活する施設なのに、災害など非常時の対応が困難となることに懸念される。また、給食施設を置かなくとも良いことから、給食の質の低下をはじめ、養護老人ホームの質の低下を招くので、反対」との反対討論があった。

採決の結果、**第8号**は全会一致で、**第7号**は賛成多数で可決した。

建設委員会



議案

第9号は、「仮設興行場の設置期間の上限が明確に示されず、恣意的な運用のおそれがある。建築基準法第43条の改正により建築審査会の同意手続が減るのは規制緩和であり、反対する」との反対討論があった。

第10号は、「工業地域のまま、まちづくりを進めるのではなく、住居地域への用途変更を行い、住民の意見を聞きつつ丁寧に進めるべきである」との反対討論。また、新船橋駅東地区の経験をもとに、点検・指導を怠りなく行うよう求める」「必要に応じて説明会を行い、交通量増加に伴う対応など、小学校の通学路の問題も含め、対応するよう求める。また、

民生委員や防犯指導員の選任については、自治振興課などと、町開きがうまく方向で進むよう協議してほしい」との賛成討論があった。

第16号は、「歩行者が歩きやすいことを尊重しながら、認定を進めることを要望する」との賛成討論があった。

採決の結果、**第16号**は全会一致で、**第9号、第10号**は賛成多数で可決した。

文教委員会



議案

第15号は、「学校は安全な場所でないばかりならず、教育活動に当たっては、安全に十分配慮しなければならぬ。本件損害賠償の原因となった競技についても、市内の学校で再び同様の事故が繰り返されることのないよう必要な対策や改善を図ることを求める」「今後は、こうした事故がなるべく起こらないように、万全の対策で臨むことを要望する」「エキサイティングする場面があると、子供たちも競争心とか育てられる部分がある。安全に配慮した上で、体育祭そのものを、もう一度きちんと考えていただくことを要望する」「再び事故が起きないように、十分な指導方法を今後も検討していただき、指導に当たっての準備も丁寧に進めていただくことを要望する」との賛成討論があった。

採決の結果、全会一致で可決した。

閉会中の委員会報告



議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会



第3回定例会に提出される議案等の質疑日等の確認を行い、会期や審議日程等について協議を行いました。また、総合計画について、全員協議会の開会について、船橋市議会委員会条例の一部改正について協議しました。

8月2日 会議

- ・総合計画について（総合計画審議会への関与（議員参加）について／基本構想を議決事項とするか、報告事項とするかについて／基本計画を引き続き議決事項とするか、報告事項とするかについて）
- ・先例申し合わせ130の取り扱いについて
- ・対面方式での質問席について
- ・船橋市議会委員会条例の一部改正について
- ・視察について
- ・請願陳情について
- ・議案書への個人情報の記載について
- ・全員協議会の開会について

8月20日 会議

- ・先例申し合わせ130の取り扱いについて
- ・請願陳情について
- ・本会議における資料の配付について
- ・総合計画について
- ・全員協議会について
- ・視察について

8月29日 会議

- ・第3回定例会の審議日程等について

総務委員会

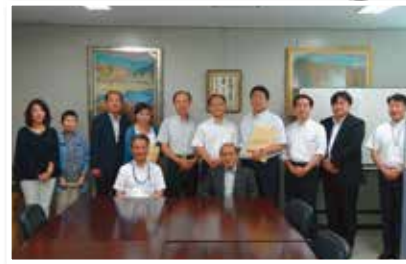


荒川区では、荒川区民総幸福度（GAH）について、指標作成の経緯、基本構想と幸福度の関わり等について説明を受け、質疑を行いました。

その後、荒川区自治総合研究所の見学をしながら説明を受けました。

7月24日 視察

- ・荒川区（荒川区民総幸福度（GAH）について）



荒川区での視察の様子

健康福祉委員会



船橋市と密接な関係がある船橋市社会福祉協議会に関する運営状況や活動状況を調査するため、社会福祉協議会、中央老人福祉センター及び宮本児童ホームの視察を行いました。また、各施設で説明を聞き、質疑応答も行いました。

7月11日 視察

- ・市内視察
（船橋市社会福祉協議会における運営状況や活動状況について）



中央老人福祉センターでの視察の様子

市民環境経済委員会



7月19日、活動状況調査のため船橋商工会議所を視察し、あわせて地域振興委員会第2小委員会との意見交換を行いました。また、同日、船橋警察署長出席のもと、「電話de詐欺」の被害状況調査を行い、委員会として決議を行いました。

7月19日 視察

- ・市内視察（船橋商工会議所の活動状況調査）

7月19日 会議

- ・「電話de詐欺」に関する参考人の出席要求について
- ・家庭系可燃ごみ収集回数の見直しに伴う有価物の収集日変更について（報告）
- ・船橋市商店会連合会からの要望事項に関する状況調査について
- ・「電話de詐欺」について
- ・「電話de詐欺」被害についての決議について



商工会議所での視察の様子

建設委員会



高瀬下水処理場や海岸保全施設を視察し、担当課から整備状況等の説明を受け、質疑を行いました。また、平成29年度市政執行方針において言及のあった重点実施事業について担当課から説明を受け、質疑を行いました。

7月20日 視察

- ・市内視察（高瀬下水処理場、海岸保全施設（海老川水門ほか））

8月27日 会議

- ・平成29年度市政執行方針において言及のあった重点実施事業について



高瀬下水処理場での視察の様子

広報委員会



市議会だより234号の表紙及び会派代表者会議の記録、議案書のウェブサイト掲載について協議・決定しました。また、夏休み小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会及び行政視察等についての協議を行いました。

6月27日 会議

- ・平成30年第2回定例会市議会だより234号について
- ・市議会ガイドブックについて
- ・市議会だよりの全戸配布について
- ・夏休み小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会について
- ・会派代表者会議の記録のウェブサイト掲載について
- ・議案書のウェブサイト掲載について
- ・行政視察について

8月10日 会議

- ・市議会ガイドブックについて
- ・市議会だよりの全戸配布について
- ・夏休み小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会について
- ・議案書のウェブサイト掲載について
- ・視察について

予算決算委員会



7月23日に理事会を開き、常任委員会化の振り返りとして、来年度予算編成状況に関する所管事務調査について及び総括質疑の質問方式のあり方について協議しました。

7月23日 理事会会議

- ・予算決算委員会の常任委員会化を振り返って（所管事務調査について）
- ・総括質疑の質問方式のあり方について

特別委員会の活動

海老川上流地区のまちづくり調査研究特別委員会

委員会の今後の活動計画及び報告書の作成について協議を行いました。また、海老川上流地区のまちづくりについて、担当課から、準備委員会の活動状況等についての報告を受け、質疑を行いました。

7月18日 会議

- ・海老川上流地区のまちづくりについて（報告）（準備委員会の活動状況について）
- ・今後の活動計画について（各会派からの提案事項について／報告書の論点整理及び協議の進め方について）

8月22日 会議

- ・海老川上流地区のまちづくりについて（報告）（準備委員会の活動状況について）
- ・今後の活動計画について（各会派からの提案事項について）
- ・報告書の作成について（報告書の構成について／報告書の論点整理について）

を開催
しました

小学生議会見学会及び 中学生高校生議会見学会・意見交換会

議会の役割や仕組みを理解していただくことを目的に、8月16日(木)・17日(金)に小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会を開催し、2日間で小学生82名、中学生67名、高校生19名に参加していただきました。

参加した皆さんからは、「普段入れない場所に入れて楽しかった」「見学して市議会についてもっと知りたくなった」「議員と直接話ができて勉強になった」など、ご好評の声をいただきました。

市議会の仕組みを紹介

プロジェクターを使用し、広報委員会の委員長と副委員長が、「住民からの願いが市に届くまで」を例に、実際に住民の願いを請願陳情という制度を利用して市に伝えていく流れを追いながら、市議会の仕組みや、市議会の役割を説明しました。「これから議会のことをもっと知っていきたい」「選挙権を持ったらぜひ投票に行きたい」などの感想が聞かれました。



市議会施設見学

広報委員が議会内の各施設を順番にご案内しました。

参加した皆さんは、普段入ることができない議長室や委員会室などに興味津々の様子でした。

本会議場では、広さや窓からの見晴らしに驚く声があがったり、さまざまな設備を前にして、広報委員の説明を一生懸命聞いていたりしていました。また、議長席に座って写真を撮ったり、質問席や答弁席から実際にマイクを使って話したり、会議の雰囲気を経験していました。



議員とのお話し会(小学生)

議員と直接話せる機会とあって、はじめは緊張している様子でしたが、普段気になっていることや市議会の仕組みなどを熱心に聞いていました。

「自分の知らないことが多く新しい発見があった」などの感想もあり、楽しい時間を過ごしていました。



議員との意見交換会(中学生・高校生)

市議会について感じている疑問や、説明を聞いて疑問に思ったことなどについて、議員と意見交換をしました。

「市議会をより身近に感じることができた」「議員の考えを聞けてとても刺激になった」などの感想もあり、充実した時間を過ごしていました。



この見学会および意見交換会は、来年も開催を予定しています。
概要が決まりしだい、市議会だよりやウェブサイト等でご案内します。

◎第4回定例会は11月16日(金)開会の予定です

請願・陳情の受理期限は、11月15日(木)午後5時です。

予定審議日程

月日(曜日)	開会予定時間	主 な 議 事
11月16日(金)	午前10時	開会、会期の決定、議案等提案説明、発議案提案説明
	散会後	議会運営委員会
11月26日(月)	午前10時	議案質疑・付託
	散会後	予算決算委員会理事会
11月27日(火)	午前10時	発議案質疑・付託
	散会後	予算決算委員会
11月28日(水)、 11月29日(木)	午前10時	一般質問
11月30日(金)	午前10時	一般質問
	散会後	議会運営委員会
12月 3日(月)	午前10時	一般質問
12月 4日(火)	午前10時	一般質問、請願陳情の付託
12月 6日(木)	未 定	総務委員会・予算決算委員会総務分科会

月日(曜日)	開会予定時間	主 な 議 事
12月 7日(金)	未 定	健康福祉委員会・予算決算委員会健康福祉分科会
12月10日(月)	未 定	市民環境経済委員会・予算決算委員会市民環境経済分科会
12月11日(火)	未 定	建設委員会・予算決算委員会建設分科会
12月12日(水)	未 定	文教委員会・予算決算委員会文教分科会
12月14日(金)	未 定	予算決算委員会理事会
12月17日(月)、 12月18日(火)	未 定	予算決算委員会
12月20日(木)	午後1時	議会運営委員会
12月21日(金)	午前10時	付託事件の審査報告と採決、閉会

**「ふなばし市議会だより」
の1面写真を
募集しています**

**あなたの
“ふなばし”らしい
1枚をお待ちしています**

【規 格 等】

横撮りのみ。カラープリント(2L)、またはデジタル写真データ(JPEG形式で1MB以上)

【応募資格】

市内に在住・在勤・在学の方

*詳しい応募上の注意、応募方法などは、船橋市議会のウェブサイトをご参照ください。

【作品の応募・お問い合わせ先】

議会事務局庶務課 調査係

電話番号：047-436-3012

Eメール：gikai-chosa@city.funabashi.lg.jp

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、あるいは報告や説明を求めるものです。将来の方針等の所信や疑問をただし、

企画・財政

東京オリンピックへの取り組み

民主連合 岡田 とおる

質問 今回の市立船橋高校での公開練習を踏まえ、来年度の一般公開では、何を改善し、どのような対策を講じるのか。

答 企画財政部長 混雑を改善できるよう、公開日の日数を増やすなど、より多くの方々が見やすい方策を検討したい。

高齢者のICT利活用

民主連合 高橋 けんたろう

質問 情報格差の改善を図る必要性を認識しているならば、総務部が旗振り役となり、方向性を示す必要があるのでは。

答 総務部長 今後、策定を予定している計画の中で、基本的な方針を示していく必要性があると認識している。

行財政改革における定員適正化

自由市議会 鈴木 ひろ子

質問 平成22年度以降、定員適正化にどのように取り組んできたのか。4割以上も臨時・非常勤職員を増やしたが、その後の検証は行っているのか。

答 総務部長 職の整理や業務分析を行い適正配置や定員管理計画の策定を検討。

市内の案内図

公明党 木村 修

質問 中学生等の市内移動を想定し、印刷して使用する地図を掲載しては。

答 市長公室長 市内施設を利用するため、わかりやすい案内図などのホームページ掲載について、今後、所管である教育委員会と協議していきたい。

走る広告塔

公明党 橋本 和子

質問 財源の確保で、公用車への広告掲載を取り入れてみてはどうか。

答 企画財政部長 行財政改革の財源確保に向け、広告代理店等にサウンディング調査を実施し、手法を検討中。

質問 図柄入りご当地ナンバープレートについて、船橋ナンバーの図柄デザインを募集したが、図柄入りのものは、通常より値段が高いのか。

答 企画財政部長 通常よりも交付手数料が高く設定される。カラー版とモノトーン版があり、カラー版は、千円以上の寄付金が必要。具体的な寄付金配分等は未定。

投票環境の向上のために

公明党 鈴木 心一

質問 明年の統一地方選挙に向け、期日前投票所を東部公民館内に開設すると伺った。市には東部公民館と同じような機能を有する施設は他にもあるのか。

答 選挙管理委員会事務局長 専用回線が敷設されている施設と併設している施設は、法典公民館、高根台公民館、小室公民館及び三山市民センターである。

質問 期日前投票所の今後の増設は。

答 選挙管理委員会事務局長 東部公民館への有権者の投票行動等を分析し、地域間のバランスも配慮した上で、総合的に勘案し、有権者に有効な投票機会を提供できるよう課題の整理に努める。



期日前投票所が開設される予定の東部公民館

高齢化率の高い地域の投票所問題

日本共産党 関根 和子

質問 有権者数が多いのに投票所が遠い地域においては、適した民間施設があれば借り上げ、当日投票所を設置すべき。

答 選挙管理委員会事務局長 条件をある程度満たせば検討できる。

質問 バスを借り上げ、有権者を期日前

投票所にお連れする移動支援の確立を。

答 選挙管理委員会事務局長 有効な手段。近隣市の動向を注視し検討したい。

指定管理者制度導入とワーキングプア

日本共産党 松崎 佐智

質問 船橋市は市営住宅と都市公園に指定管理導入を検討しているが、静岡県の「適正な指定管理者制度を考える研究会」の調査では、労働者の50%近くが「給料が安い」「将来の雇用が不安」と回答。事業主の約28%は次期契約が取れなければ正規職員でも解雇すると回答。本市は、こうした実態を把握しているか。

答 山崎副市長 適切な設計を心がける。

質問 調査の中に「大幅に基本給などを抑えられた職員が公務員と同レベルの仕事求められるのは酷だ」という訴えもある。指定管理の推進は大問題だ。

答 山崎副市長 民間賃金と公務員賃金の差の中で工夫できないかと考えている。

住民福祉削り大規模事業の大盤振る舞い

日本共産党 中沢 学

質問 市の将来財政推計には、焼却炉1つ分以上過剰な新南部清掃工場、大学誘致を掲げる海老川上流開発、船橋駅南口再開発等が計上されている。財政が厳しいなどというのは大規模事業を進めるための方便に過ぎない。建設事業の大盤振る舞いで借金を膨れあがらせたあげく「数年後には予算が組めなくなる」などと

脅して、一層の市民負担増と住民福祉の切り捨てを市民に押しつけ、更なる大規模事業の財源を捻出する。それがいま市長がやろうとしている事ではないか。

答 市長 今いる市民の安心だけでなく、他の所から「船橋いい街になったね」と言われる状況を作るのも私達の責任。

障がい者施策

市民共生の会 つまがり 俊明

質問 市の実態は障がい者雇用の法定雇用率を下回る状況であり、長年にわたって障がい者雇用率の算定が不適切であったことが明らかになった。原因は何か。

答 総務部長 国のガイドラインへの理解の浅さと従前のやり方を見直す内部統制が機能しなかったことに問題がある。問題の解決に今後真摯に取り組む。

質問 障がい者雇用を民間に勧めても「市役所自らはやっていないのか」とならないのか。市長はどう感じているのか。

答 市長 今回の算定誤りは本当に申し訳ないと思っている。民間と行政がしっかりと連携を取るように取り組んでいきたい。

選挙啓発

市民共生の会 三宅 桂子

質問 公平な立場で選挙事務を取り仕切る選挙管理委員会では投票率を上げるためにどんな啓発を行っているか。

答 選挙管理委員会事務局長 成人式での新成人向けリーフレット、小学校6年生への啓発冊子の配布、出前講座実施な

ど、将来を担う子どもたちに主権者としての自覚を促している。また、学校の協力で保護者に投票参加を呼びかけている。

質問 うっかり忘れを防ぐために、投票日当日に防災行政無線を使い、放送で啓発することはできないか。

答 選挙管理委員会事務局長 目的や環境、震災の影響により中断していたが、実施が可能か改めて所管課と協議したい。



市役所本庁舎屋上にも設置されている防災行政無線

新公会計制度の活用

市民共生の会 齊藤 和夫

質問 施設建設の際、建設費という初期投資額だけでなく、維持管理から建替え時の取り壊し費用に至るまでのライフサイクルコストは、予算の立案・査定において検討・判断材料とされているか。

答 企画財政部長 現状では建設費用を中心に事業費の判断をしている。今後は、ライフサイクルコストの考え方も含んだ検討をしていく。

質問 新公会計制度で得られる情報を職員に発信することで、コスト意識や自らの業務を俯瞰する意識を育み、行財政改革の土台としていけるのではないか。

答 企画財政部長 今後、財務書類の情報も職員に伝え、意識の醸成を図りたい。

防災

減災対策

自由市議会 大矢 敏子

質問 市として洪水・水害を想定した訓練も実施すべきではないか。

答 市長公室長 命を守るためには、浸水区域を知ってもらうこと、事前の避難が大切。新たなハザードマップ作成の際に、浸水区域の避難訓練を検討したい。

洪水ハザードマップ

日本共産党 坂井 洋介

質問 雨量の想定が不十分。西日本豪雨等の雨量を考え、見直しが必要では。

答 市長公室長 県の見直しを受け、関係部署と協議し、見直しを考えたい。

災害時の住宅・事業等残ローン減免施策

市民共生の会 池沢 みちよ

質問 平成28年度自然災害債務整理ガイドラインが発表されたが周知されたか。

答 市長公室長 重要な情報について防

災ポータルサイト等で情報提供したい。

船橋市総合防災訓練

市民共生の会 神田 廣栄

質問 今年も酷暑の中の防災訓練だった。開催時期の見直しを過去にも求めているが、改めて開催時期の変更を求める。

答 市長公室長 気象庁が記録的な暑さについて、注意を呼び掛けており、訓練時期は検討する必要がある。自治会連合協議会、教育委員会と協議する。

西日本豪雨でのペット同伴避難所実施に学び、船橋でも実現を

市民共生の会 朝倉 幹晴

質問 倉敷市などで水害後片付けのボランティアをし、今回初めて開設された、ペットと同じ区画で過ごせるペット同伴避難所も見学した。船橋でも実現を。

答 市長公室長 倉敷市を初め、他市の状況を調べて研究したい。

災害での停電時の携帯充電体制確立を

質問 北海道胆振東部地震では広域停電がおき、携帯充電のため列で並んだという。停電時の本市の避難所での充電は。

答 市長公室長 避難所に照明等の必要に備え力セットボンベ式充電機の備蓄がある。ケーブルがあれば携帯も充電可能。



生活・安全

死亡に伴う手続きの案内

公明党 松橋 浩嗣

質問 案内は重要。詳細に紹介する「おくやみハンドブック」を用意出来ないか。

答 市民生活部長 関係各課と調整しながら現在お渡ししている手続き窓口の一覧表を見直し、少しでもご遺族の負担軽減を図れるよう検討したい。

質問 他市で開設された「おくやみコーナー」は手続きが簡略化されて助かると好評である。当市にも導入出来ないか。

答 市民生活部長 死亡に伴い必要となる手続きは内閣官房IT総合戦略室にて負担軽減を図る仕組み等を検討している。このワークショップに参加して得た情報を有効に活用し、取り組みを研究する。

JR船橋駅周辺の防犯対策

自由民主党 浅野 賢也

質問 安全なまちづくりには、客引き行為の根絶は欠かせない。条例が施行されても客引き行為などが減らず、条例の効力を疑問視する声もある。警察との連携などどのようなになっているのか。

答 市民生活部長 県条例が規制の対象とする執拗な客引き行為等について、警察に情報提供し、取り締まりを要請している。これまで以上に、警察と連携をとりつつ、客引き行為等の防止に努める。

質問 今年度より警察官OBが防犯指導員として活動しているが、現職の警察官の意向が、警察の連携、条例周知、防犯の抑止力として効果があると考ええるが。

答 市民生活部長 警察官OBとしてこれまでの経験を活かした態度で接するなど、

その対応が功を奏して、現状では、一定の効果をおぼえている。遅い時間の客引き行為の対応など、課題の解決に努める。

答 総務部長 一定の成果が上がっているため、当面は現状の体制を維持したい。



安全なまちづくりのため、警察とのさらなる連携強化が求められる

自転車安全利用対策

民主連合 斉藤 誠

質問 スケアード・ストリートについては、現在、中高生を対象にしているが、地域の一般成人も対象にするべきでは。

答 市民生活部長 地域住民の方にも参加していただける方法を検討する。

質問 悪質な運転には厳しい対応を。啓発活動と取り締まり回数を増やすべき。

答 市民生活部長 警察と連携し、自転車安全運転の啓発活動を行っているが、

その回数を増やしていただけるよう、今後も警察と協議していく。



交通事故を再現したスケアード・ストリート自転車交通安全教室の様子

詐欺被害の根絶のため相談体制の強化を

民主連合 高橋 けんたろう

質問 一括した専用窓口を設けるなど、相談体制の強化を図るのはいかがか。

答 市民生活部長 対応を考えたい。

消防局と消防団の連携

民主連合 三橋 さぶろう

質問 消火活動時に連携できるように、消防団にも50ミリホースを配備すべき。

答 消防局長 検討が必要と考える。

前原駅付近の駐停車問題

市民共生の会 神田 廣栄

質問 ここは駐車禁止。停車禁止ではない。安心して駐車するためにも、道路に

パーキング・スペースを設置すべき。

答 市民生活部長 警察署を初めとする関係者と調整等が必要となるため、ご指摘の点について、船橋東警察署へ伝える。

子育て・健康・福祉

夜間休日急病診療所

日本共産党 坂井 洋介

質問 看板が見えにくく場所がわかりづらい。改善の必要があるのでは。

答 健康・高齢部長 案内方法を考える。放課後等デイサービス

日本共産党 金沢 和子

質問 来年以降、指定権限が市に移譲されるが、療育内容についてどのような判断基準を持って指導や監査を行うのか。

答 子育て支援部長 県の定める基準を引き継ぐ形で考えており、その一方で各事業所へ赴き現況等の把握に努めている。

シルバーリハビリ体操事業の発展を

民主連合 岡田 とおる

質問 どのように発展させていくのか。

答 保健所理事 指導士レベルの標準化を図り、指導士の養成も行っていく。

3歳児健診での機器を使った検査

民主連合 三橋 さぶろう

質問 簡易ではあるが、短時間で多角的屈折検査ができる機器を導入し、全員の子どもに検査を実施する考えは。

答 保健所理事 眼科専門医や小児科医などの意見を伺うとともに、先進市の事

例も調査し、検討していきたい。

高齢者肺炎球菌の予防接種

公明党 藤川 浩子

質問 経過措置が平成30年度までの場合、未接種者へ個別の接種勧奨をすべき。

答 保健所理事 インフルエンザ予防接種の個別通知の文面中に、一度も受けたことがない方は、平成31年3月31日まで接種が受けられる旨を記載する。

質問 2回目が定期接種化された場合、2回目についても接種勧奨が必要では。

答 保健所理事 1回目を接種した方への2回目接種を市独自で実施するか、市独自で1回目接種した方を含めた2回目の全接種対象者に個別通知を行うか検討中。国の動向を注視しつつ、市として有効な事業を実施していく。

マタニティ・子育てタクシー

公明党 桜井 信明

質問 本市の取り組みと見解を伺う。

答 保健所理事 市内タクシー会社等に対しアンケート調査を行い、その結果から行政として普及啓発ができることはないかを検討したい。

放課後ルーム支援員のサポート施策

市民共生の会 池沢 みちよ

質問 成り手不足は相談窓口等、支援体制の整備不十分が一因ではないか。

答 子育て支援部長 一人で悩みを抱えない体制、職場環境づくりに注意を払う。

健康寿命日本一をめざして

研政会 島田 たいぞう

質問 家庭での塩分と糖質の正しい摂り方と学校給食における減塩対策を伺う。

答 保健所理事 生活習慣病予防の健康教育を実施している。

答 学校教育部長 塩分改善計画検討委員会を立ち上げ、取り組んでいる。

福祉分野におけるICT化等

自由市政会 藤代 清七郎

質問 市としてどのように関わるか。

答 健康・高齢部長 ICT化や介護ロボットの普及は業務の効率化、生産性の向上や介護職員の負担軽減に役立つため、有益な事例の紹介や補助事業の情報提供などにより、導入を支援していきたい。

幼児教育・保育の無償化

質問 無償化による待機児童問題への影響をどのように考えているか。

答 子育て支援部長 無償化により、新たな保育需要が生じ、保育園の利用申込みが増加して、待機児童数に影響する可能性もある。



環境

プラスチックの分別・再資源化

日本共産党 岩井 友子

質問 焼却した熱の回収を免罪符にプラスチックを焼却しているが、発電するからといってCO₂は消えるものなのか。

答 環境部長 削減したと見られることから、そのような取り組みを行っている。

質問 まずプラスチックについて、再資源化、再利用の方向を考えるべきでは。

答 環境部長 検討すべき課題と考える。

質問 北部清掃工場の処理能力は日量381トンであり、南部清掃工場は日量339トン。合計720トンであるが、本市のごみ焼却量は日量585トン。比較すると焼却炉1つ分以上が余剰となる。過剰な施設とならないよう検討を。

答 環境部長 計画変更の考えはない。



教育・文化

部活動指導員制度の早期導入を

研政会 石川 りょう

質問 学校現場のニーズを考慮し、来年度からの部活動指導員制度の導入を強く望むが、いつまでに導入するのか。

答 学校教育部長 ガイドライン策定後、できるだけ早期に導入していきたい。

プログラミング教育

自由市政会 小平 奈緒

質問 2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化される。準備が進んでいない自治体が多いという調査報告があるが、本市の状況を問う。また準備を進めるうえでの課題は何か。

答 学校教育部長 教員を対象に研修会を実施している。今年度はプログラミング教育を実施する学年や、評価、実施方法などについてのモデルプランを作成し、各小学校で活用できるようにする予定である。

ある。現段階の課題は、プログラミング教育に対して不安を抱えている教員がいること。研修のさらなる充実や資料の提供などを行っていきたい。

通学路における防犯カメラの有効性

自由市政会 川井 洋基

質問 平成29年第4回定例会で答弁があったが、その後、防犯カメラの有効性を見きわめることができたのか。

答 学校教育部長 有効性は認識しており、現在各小学校に通学路上で危険と思われる場所の抽出を依頼中。必要な対策を早急に検討していきたい。

学校の働き方改革

自由市政会 渡辺 賢次

質問 これまでの取り組み及び成果は。

答 学校教育部長 年3回の校長面接の際に、各校長へ業務改善と教職員の意識改革をお願いしてきた。昨年度から全校に校務支援システムを導入し、教職員から業務の軽減と改善が図れたなどの感想があり、一定の成果が出たと考える。

質問 今後の取り組みは。

答 学校教育部長 教職員の業務改善と意識改革の両面に取り組む。業務改善は、校務支援システムの更なる活用等により効率化を図る。意識改革は、勤務時間を集計するシステムの導入等により、業務を計画的、効率的に行えるよう取り組む。

郷土資料の収集

自由市政会 日色 健人

質問 図書館や郷土資料館では、市内に

伝わる民謡、音頭、市内各種学校の校歌、当市に縁のある歌手・アーティスト等の作品、当市を舞台とするなどした作品についてどのように扱っているか。私たちのまちを取りあげた貴重な記録になると思うが、現在の収集・保管ならびに利用に供する考えは。

答 生涯学習部長 網羅的収集は行っていない。船橋ゆかりの貴重な視聴覚資料の消失等を防ぎ、後世に残すことは重要と考える。郷土資料館を中心として収集・保管し、図書館を通じて貸し出しを行うなど、利用方法も検討したい。

グリーンのカラー舗装

公明党 鈴木 いくお

質問 ルネ船橋レジデンスガーデン前のグリーンのカラー舗装はどうなったか。

答 学校教育部長 議員から再要望のあったルネの反対側に外側線を引き直し、カラー舗装を行なった方が良いとの結論になった。年内に整備が完了予定。

行田運動広場

質問 午前中だけでも65歳以上の団体に無料開放すべきではないか。

答 生涯学習部長 専用予約されていない時間帯は、自由使用という形で軽スポーツを少人数で行う場合、無料で使用可能。空き状況を受付窓口に掲示している。

LGBTQ教職員の研修等の実施状況

市民共生の会 池沢 みちよ

質問 要望したがその後の進捗状況は。

答 学校教育部長 NPOから講師を招き、学校現場対応について研修を深めた。

避難所となる学校体育館へエアコンを

日本共産党 坂井 洋介

質問 今年の猛暑を考えると、熱中症という観点からもエアコンを設置すべき。

答 管理部長 設置可能かの検証や費用などから、すぐさま設置するのは難しい。



子どもたちや避難者の安全を確保する必要がある

経済・産業

ふなばし市民まつり

自由市政会 滝口 一馬

質問 2020年東京オリンピックと開催時期が重なるが、市の見解を伺う。

答 経済部長 国や県の動向を注視し、

船橋西警察署などの関係機関と連絡を密にする。早く対応を決められるよう情報収集に努めたい。

都市農園のビニールハウス

公明党 桜井 信明

質問 ビニールハウスのビニール張り替えは1回を前提で補助しているが、2回目以降の補助についての見解を伺う。

答 経済部長 補助制度の見直しを行い、必要と認められる場合には、改修等について再度の補助が受けられるよう検討したい。

まちづくり

自転車活用推進計画

研政会 島田 たいぞう

質問 いつ計画を策定、検討するのか。

答 建設局長 国や県の策定検討の動きを見ながら検討する。

地域公共交通のあり方

質問 地域公共交通網形成計画の策定は、二和地区の交通不便地域支援事業は。

答 道路部長 立地適正化計画を踏まえ検討する。代替案について検討する。

廃止候補とされている夏見高根町線

研政会 石川 りょう

質問 総合都市交通計画を改めて策定する中で本都市計画道路の存続、廃止について再度見直しを行うのか。廃止ありきでなくゼロベースでの見直しをお願いした

い。また、近隣住民への説明会は絶対に必要であると思うが、実施するのか。

答 都市計画部長 計画策定にあたり、再度見直しを行う。その結果においても廃止候補となり、都市計画変更の原案を作成した時は、住民説明会を開催したい。



緑台地区を通る都市計画道路3・4・23号夏見高根町線

危険なブロック塀の対策

日本共産党 関根 和子

質問 撤去後に設置する軽量フェンスや生け垣等に対する補助事業等の実施を。

答 建築部長 国の補助事業と他市の状況など情報収集に努め今後につなげたい。

建設業界における深刻な若手の人手不足

日本共産党 金沢 和子

質問 若手確保のため、週休2日制の発注を行い、先進的に進めるべきでは。

答 都市計画部長 今後、先進自治体の導入状況を踏まえ検討したい。

答 建設局長 積極的に検討すべきと考ええる。受発注者両方が合意しないと進まないため、それも含め検討したい。

本市の自転車走行の取り組み

自由市政会 滝口 一馬

質問 現在工事中の新船橋橋は、道幅が狭^{きわど}隘で、交通量が多い。安全対策は。

答 道路部長 自転車マークであるピクトグラム、青色の矢羽根、「自転車を降りて通行してください」というお願い看板を設置し、安全確保を図っている。

京成船橋競馬場駅南口

自由市政会 大矢 敏子

質問 国道14号を跨ぐ横断歩道橋にエレベーター設置の要望をしているが、話が止まっている。早急に話をまとめるべき進捗状況は。

答 道路部長 施設の管理区分について、葛南土木事務所と協議を行っている。

船橋法典駅の混雑解消

自由市政会 川井 洋基

質問 船橋法典駅周辺の交通調査業務委託の調査結果及び改善策を伺う。

答 都市計画部長 交通処理施設の整備が必要であり、2ヶ所を整備する案を整理した。今後関係機関との協議が必要。

JR下総中山駅南口のバリアフリー化

自由市政会 鈴木 ひろ子

質問 10年以上要望しても進まない状況。私も地元町会と協力し、3700名

以上の署名を集めJRに提出した。隣接の市川市と協力しJRに働きかけられないか。

答 企画財政部長 市川市と連携し、要望等を行うことを同市と協議する。



早期のバリアフリー化が求められる

JR船橋駅周辺まちづくり

自由民主党 浅野 賢也

質問 本年2月に閉店した、駐車場併設の「船橋西武百貨店」跡地は、どのように利用される予定であるか。

答 企画財政部長 セブン&アイグループへ、船橋の玄関口にふさわしい機能や公共施設として整備可能なものがあれば、提案していただきたいと伝えてきた。また、船橋商工会議所より要望書が提出されたため、要望を伝え、協議している。

質問 船橋駅周辺の駐車場が西武百貨

店閉店に伴い不足しているようであり、利用者から不満の声を聞く。都市計画道路3・3・7号線の本町から海神まで、東海神駅周辺の市所有の土地を時間貸しの駐車場として利用できないか。

答 道路部長 都市計画道路3・3・7号線海神工区は、完成に向け、用地取得を進めている。歩道整備後の未利用地について、時間貸し駐車場などとして利用可能か検討していく。

海老川上流地域のまちづくり

質問 船橋市運動公園プールがオープンし、多くの市民に施設を利用して頂いた。県道夏見・小室線の周辺道路は、大渋滞をしたようだが、今後の渋滞対策を考えているのか。また、近隣店舗駐車場に迷惑をかけたが、どう対応したのか。

答 生涯学習部長 運動公園プール開催初日と翌日は、渋滞を招いてしまい、地元や周辺を利用する方々へ大変ご迷惑をおかけした。来年度から体育大会など重要なイベントの調整する。近隣店舗から駐車場の無断利用の苦情があり、注意看板を設置した。各店舗より看板の効果があつたと意見をいただき、設置位置、枚数などの改善点を次年度以降に生かす。

質問 海老川上流地域の区画整理事業計画が進んでいるようである。市街化調整区域にも関わらず、いわゆる40戸連たんにて、開発が行われている。他の市町村において、連たんによる開発基準の見

直しを行っているが、早期に見直す考えはあるのか。

答 建設局長 今年度より都市計画マスタープラン、立地適正化計画の改定や策定作業を開始した。その作業において、ご提案のことについて検討する。

公園の健康器具

公明党 木村 修

質問 市内68の公園に設置されている健康器具を、運動公園、ガラスポなどにも設置してはどうか。

答 都市整備部長 利用者の意見や周辺町会・自治会の要望を聞きながら、設置について検討していきたい。

船橋駅南口市街地再開発事業

公明党 石崎 幸雄

質問 本事業全体構想に西武船橋店跡地の区域を含めることについての見解は。

答 都市整備部長 事業者と跡地利用に関して協議中。協力が得られれば全体構想に取り入れたまちづくりを検討したい。

質問 計画決定から50年以上経過したが、まちづくり勉強会で地権者から出た駅前広場再検証をどう計画に繋げるのか。

答 都市整備部長 様変わりしているので、駅前広場の形状等の検証は必要。

質問 民間事業者の迅速な跡地計画にどう対応するのか。

答 都市整備部長 情報収集に努め、駅前の賑わいや回遊性の創出等整備を要請。



【特集】

議長・副議長選挙前に所信表明の機会を設けることについて全員協議会が開催されました

平成30年9月11日に、議長・副議長選挙前に所信表明の機会を設けることについて、全員協議会が開催されました。当日、議長が各議員に向け、開催の趣旨を説明しました。本ページでは、市民の皆様に向け、議長より趣旨をご説明いたします。

議会とは

私は、議長として市民の皆様が開かれた議会とはどうあるべきか、市民の皆様にも身近な議会とはどうあるべきかを考えてきてきました。

なぜならば、市議会は市民生活に最も密着した施策を最終的に決定する場であり、皆様に選んでいただいた私も議員がどのような発言をし、どのような活動をしているかをしっかりと確かめられる場でもあると考えるからです。

これまでの議長・副議長選挙

そこで、市議会を代表する議長の選出についてですが、市民の皆様からは、わかりにくい選出方法だと言われてきました。最終的には議員間で公開の選挙で決めるわけですが、そこに至る過程が見え

議長・副議長選挙をより開かれたものに

づらうということです。議長がどのように選ばれているか、その議長がどのような考えをもっているのかを、市民の皆様が知ることができる透明性の高い議長選出の方法が望ましいと考えております。

市政は、二元代表制により運営されています。どういふことかと申しますと、行政運営の最高責任者である市長は、予算や条例などを議会に提案をします。一方、議会は提案された事項の最終意思決定を行います。提案する側、決定する側のどちらも市民の負託を受けており、それぞれの役割（権能）を分担する中で、議会と市長は対等であると言われております。

提案する側の市長はいうまでもなく、自らの公約を掲げ、公の選挙で選出されます。決定する側の議会の議長は、議会をひとつにまとめていく重要な役割を担っており、その選出過程は市民の皆様によりやすいものでなくてはなりません。

これらのことから、議会の代表者である議長の選出に当たって、公開の場で議長や副議長になろうとする議員が所信を述べ、そのうえで個々の議員が議長や副

全員協議会開催の経緯

今回の全員協議会の開催は、会派代表者会議において、議員全員の意識の共有の場を設けるという提案に基づき、決定いたしました。

意識共有には、議員個々が自由にそれぞれの考え方、意見を述べる形式での全員協議会の開催が必要だったということです。

また、このことから、着席も会派にとられない位置といたしました。

議長 鈴木 和美

議長・副議長の役割

議長は、議員による選挙により選ばれ、議会を代表する重要な役職です。議場の秩序保持、議事の整理や議会の事務をまとめるなどの権限を有します。

また、市議会の代表者として、全国の各市が加盟する議長会議や市の行事等に出席します。

副議長は、議長が出張や病気等で不在のときに、議長に代わってこれらの仕事を行います。

詳細は市議会ウェブサイトでご覧いただけます

全員協議会の議事録

URL : http://funabashi.gijiroku.com/voices/g08v_views.asp?Sflg=42&FYY=2018&TTY=2018



議事録

全員協議会の録画中継

次ページで各議員の録画中継サイトのコードを掲載していますので、ご覧ください。



全員協議会での各議員の意見表明

通常、本会議では、会派ごとにまとまって着席していますが、今回の全員協議会では、会派を超えて意見表明をする必要があることから、着席する座席の抽選を行いました。

日色 健人

石川 りょう

つまがり 俊明

鈴木 心一

杉川 浩

浦田 秀夫 副議長

鈴木 ひろ子

佐々木 克敏

三橋 さぶろう

中沢 学

小平 奈緒

松寄 裕次

石崎 幸雄

島田 たいそう

岡田 とおる

坂井 洋介

三宅 桂子

高橋 けんたろう

藤代 清七郎

渡辺 賢次

滝口 一馬

七戸 俊治 ※当日欠席

浅野 賢也

斉藤 誠

松橋 浩嗣

本ページの各議員のコードを読み取ることで、各議員の意見表明の様子を市議会ウェブサイトの録画中継でご覧いただけます。

各議員のコードの読み取りができない場合は、欄内のURLの検索又はコードを読み取り、各議員の一覧から意見表明の様子をご覧ください。(会議日:平成30年9月11日)

URL: http://funabashi.gijiroku.com/g08_Video2_Search.asp



船橋市議会の取り組み

船橋市議会では、より開かれた市議会を目指し、さまざまな取り組みを行っています。
これまでの主な市議会の取り組みを紹介します。

海老川上流地区のまちづくり 調査研究特別委員会の設置

海老川上流地区において、医療・福祉関連施設、ウォーキングコースや公園、新駅などを整備・誘致するまちづくりが検討されている中、議会として分野横断的に調査研究する必要があることから、平成28年12月20日に設置しました。



予算・決算 特別委員会の 常任委員会化

予算または決算に関する議案については、定例会ごとに設けられる特別委員会で審査を行っていましたが、予算・決算をより一体的に詳細に審査するため、平成29年第2回定例会より、常任委員会化しました。

政務活動費の 領収書等の公開

平成26年度から市議会ウェブサイトにて、各議員または会派の政務活動費収支報告書を公開していますが、今年度から収支報告書に加え、領収書等も含めて公開しています。(平成29年度分から)

委員会記録等の 掲載内容の拡充

平成30年5月24日の広報委員会にて、現在、未掲載となっている平成11年4月以降の委員会記録、発議案、請願陳情及びふなばし市議会だよりを市議会ウェブサイトに掲載することを決定しました。今後、準備が整ったものから順次掲載していきます。(既に掲載されている記録等もあります)



市長提出 議案の掲載

市長から議会に提出された議案の審議内容をより深く知っていただけるよう、平成30年第3回定例会より市議会ウェブサイトにも議案を掲載しています。

議会見学会の開催

小学3年生から高校生を対象に、議会の役割や仕組みを理解していただくことを目的に開催しています。議場などの見学や、議員と直接お話しする場を設け、毎年、多くの方にご参加いただいています。

※今回開催された議会見学会の様子は、10ページをご覧ください。



市議会ガイドブックの 全戸配布

広く市民の皆様へ、より市議会のことを知っていただけるよう、市議会の活動や仕組みなどを、わかりやすく1冊にまとめた「ふなばし市議会ガイドブック」を市内の全世帯に配布します。平成31年1月中旬以降に順次各世帯へお届けする予定です。



協議中

市議会だよりの全戸配布

市議会だよりは、現在、新聞折り込みや希望者への郵送などで市民の皆様にお届けしておりますが、議会の活動をより多くの市民の皆様知っていただくことを目的に、平成31年度から、市内の障害福祉施設や高齢者団体などにもご協力いただき、市内の全世帯にポスティングにより配布することを広報委員会で協議しています。

